

第3回正副会議 [2/17(火)] 意見

【室長 山口 雄矢】

・昨年度は主にお金の管理面で例年以上に反省点が出たと思います。纏振り帳簿についての記載がありますが、漏れが発生する余地のない仕組みを作ってください。

・特定の人員を確保する必要があるため、纏振りスケジュールは関係者と早期に調整を行い、議案段階で示してください。

・予算書の収入について、精査をお願いします。具体的には事業費繰り入れで280万円は可能なのか、雑収入扱いでの100万円の内容について議案上での明記、登録料収入の見直し検討などです。支出を見直して大幅増額となっている分、きちんと資金調達ができる工夫や計画が必要だと考えます。

・予算書について、30万円以上のものは相見積もりがルールとなっているので対応をお願いします。

・チラシの日付が昨年のもので、日程決定次第、本年度のものに変更をお願いします。

・現時点では日程は決まっていないものの、例年より前倒し且つ行程が異なる可能性が高いとのこと。どう転んでも対応できるよう、誰が担当し、何にどれだけ時間を使うのかToDoのようなスケジュール管理ができる資料を示してください。

・運営支援会議のマニュアルについて、実務面の内容を盛り込んでください。

・神輿の準備に関して誰が見ても分かる資料の作成添付をお願いします。その際は、準備物や行程はもちろん、組み立てや移動に何名必要なのか等も盛り込んでください。
(※新年式典の際、人員の不足だったのかは定かでないながら、左右に転びそうになった場面がありました。)

【副理事長 山之口 智啓】

・背景について、現状、あるべき姿、課題点という基本の書き方に立ち返って再考をお願いします。

・背景と目的のつながりについて、シビックプライドとまちへの貢献とが少し飛躍していると感じます。表現について再検討をお願いします。

・役割分担について、早期に行ってください。例年、メンバーの大半において当日に

ならないと役割が決まらない上、本部が足りないなど配置に関して問題が生じています。動員面から考えても、「この役割なので来てください」という働きかけを行う方が好ましいと考えます。最低限、各所の主要人員を確保し、そのことが分かる資料を作成してください。

・依頼事項について、議案本文に書いてあるだけでは協力につながらないので、実際協力をもらえるように他委員会メンバーへの展開についても計画してください。

・広報について、今回の事業計画の目的、内容に応じた広報戦略を考えてください。

【副理事長 宮内 基希】

・事業費繰入収入について、当初予算からの乖離が大きいです。他の資金調達手段のアイデアを含めて、運営方と協議をお願いします。

【常務 八丸 真人】

・完全に日程待ちというのはあるべき姿勢ではないと思います。決まらないなら決まらないなりに、ある程度の場合を想定して、「このパターンならこれ」と実際に日程が決まり次第すぐ動けるように複数案を計画、提示してほしいです。

【監事 池田 智博】

・継続事業であり予算規模も他と比べて大きい中で、今までと資金調達を含めたやり方を変えるのか、鹿児島青年会議所という組織のブランドに資するものとして見せ方を変えるのか、本年度なりの意義づけを考えて内容面に反映をしてほしい。
(※例年踏襲なら事業費大幅増は難しいので、別途稼ぐ算段が必要。ブランドを高められるものなら事業費が大きくても出すべきという結論にもなる。)

・本部団マニュアルについて、以前はこのような簡素なものではありませんでした。これでは実務に遺漏が出ると考えます。以前のものを入手し、変更に応じた改定を行ってください。

【東條理事長コメント ※意見への記載は不要】

・前提として、前回正副にて取り下げ後、改めて議案を出し切れなかった時点で大変なマイナススタートである。

・且つ、依然として例年よりかなり前倒しの日程になる公算が大きい状況である。それを踏まえればやはり前回からの上程スケジュールで上げるべき議案であった。組織全体の例会事業の計画、運営を任されている責任を自覚してほしい。

・予算書についても例年から大幅増額となる中で、内容云々以前の不備が多々ある。先述の経緯がありながらこのような状態で上げてくることは失礼なことだということ

は認識しておいてもらわなければ困る。

(※懇親会でお話しましたが、金額が上がることそれ自体については本当に必要であれば後ろ向きでないお考えでした。一方で、精査すればもっと抑えられるのではという思いもあるとのこと。一例として法被の新調について、事業費内で見るのであれば必要性の明示や説明がほしいとのこと。)